

10分ごとと取得可能に

【大樹】町は新年度、町多目的航空公園(町美成)西側に設置している町気象観測所のデータ収集機器に、新たな送信用機械を増設する。これまでに月次ごとだった美成地区の気象情報を、10分ごとに行うことができる。同公園付近では軽井航空関連の各種実験が行われ、気象状況がその実施や中止の判断に大きく影響することから、町は「円滑な運営へ、よりの良い環境で実験する一助になれば」としている。新年度予算案に81万円を盛り込んだ。

大樹町航空公園の気象情報

町は1989年、航空

宇宙産業の誘致や災害対策などに運用するため、

風向や風速を調べる装置を美成地区に設置し、地上風の観測を開始。91年には気温や湿度、降水量なども加えた。

日本気象協会に委託しデータを収集。町のホームページ(<http://www.town.taiki.hokkaido.jp/>)で閲覧でき、最新データを毎月下旬に月次で

る市街地から十数キロに位置することから、現場の気象状況が分かりづかった。

と連携協力協定を締結し、航空公園付近では、町

な宇宙航空開発機構(JAXA、東京)が昨年

から大気球の放球実験を行っているほか、NPO

法人北海道宇宙科学技術創成センター(HAST

より実験に集中できるようにと今回、データの送信用機器を設ける。5月中旬に稼働予定で、町は「付近の農家の収穫作業などにも利用してもらえれば」としている。(北雅貴)

円滑な実験支援

町、観測所の送信器増設へ